

# 協働アクションプラン2012

平成24年度～平成27年度

三芳町協働のまちづくりネットワーク  
三芳町協働推進本部

## 全体プラン

協働のまちづくり啓発事業	1) 事業目的と協働効果	協働のまちづくりへの地域住民の関心を促し、あわせてまちづくりネット活動の取組状況を地域に報告して、協働のまちづくりやまちづくりネットの参加層の拡大を図る。協働により、住民の視点に立った企画ができ、住民参加促進に効果がある。
	2) 事業形態	直轄事業: 運営委員会と協働推進本部の協働
	3) 協働範囲	企画・運営・実施・評価
	4) 事業内容・実施時期	① 協働に関する研修(協働概論や先進地事例研究) ② 協働に関する意見交換 ③ 協働又は住民活動の実践報告 ④ 協働のまちづくりやまちづくりネット参加者募集活動等を検討 ※ 講師・協力者謝礼などの経費は、協働推進本部による。
	5) 役割分担	行政 企画立案における情報提供、実施会場確保、予算確保 住民 まちづくネットによる企画、分野グループを活用した宣伝
	8) 実施に当たっての課題と対応策	過去数回行ってきたが、マンネリ化は否めない。内容を魅力的に変化させるため、まちづくネットから企画担当者を選出し開催する。
まちづくりネットWEBサイト開設検討事業	1) 事業目的と協働効果	まちづくネットでウェブサイトを開設することにより、協働のまちづくり活動、各分野活動状況、まちづくり活動を行っている公益団体の情報や町の情報を掲載し、一元化された情報発信を行う。協働で行うことにより、より住民目線の情報提供が行われる。
	2) 事業形態	直轄事業: 行政・運営委員会・事務処理委員会・淑徳大学との協働
	3) 協働範囲	企画・運営・実施・評価
	4) 事業内容・実施時期	掲載内容や掲載方法及び運営方法などの検討を行い、住民に分かりやすいウェブサイトの開設に向け、検討を行う。開設のための経費やメンテナンスのシステムを構築したうえで、試験的にウェブサイトを開設する。
	5) 役割分担	行政 イベント等各行政情報の提供。町ウェブサイトへのリンク。 住民 住民の求めている情報の収集及び運営(メンテナンス)
	8) 実施に当たっての課題と対応策	ウェブサイト内容を最新の状況に維持していくには、メンテナンススタッフが必要なため人員の確保が必要。また、資金面でも継続的な資金調達が必要となる。
他の公益団体との連携推進事業	1) 事業目的と協働効果	まちづくネットが、ボランティア希望者とのパイプ役を果たすため、NPO団体や自主的・公益的なまちづくり活動を行うボランティア団体の担い手不足を補完するため、活動担い手を募集・リスト化する。協働により募集を行うことで、希望者を募集しやすくなる。まちづくネットとしては、幅の広いネットワークづくりを行うことができ、既存活動がない分野において、直接まちづくネット会員への勧誘も可能となる。
	2) 事業形態	つながり支援事業 運営委員会と協働推進本部の協働
	3) 協働範囲	企画・運営・実施・評価
	4) 事業内容・実施時期	通年実施 ① 担い手不足のまちづくり活動を各団体などに募集(各分野) ② 募集する活動のリスト化 ③ リストを常時公開(更新)し、通年でボランティアを募集し、各種活動へつなぐ。
	5) 役割分担	行政 広報やHPを通じた募集。各行政分野の公益活動情報の提供。 住民 各分野の担い手不足の住民活動情報の収集、ボランティア希望者のつなぎ役(各グループを活用)
	8) 実施に当たっての課題と対応策	生涯学習や社協等のボランティア活動情報とのリンク

## 健康福祉 分野

分野の重要テーマ	介護が必要になっても高齢者が住み慣れた三芳町で安心して暮らせることができるまちづくり		
(テーマにかかる現状と課題)	<p>現状: 在宅サービスにおいて、地域包括ケアを提供できる体制が十分ではない。 地域全体で単身高齢者や高齢夫婦が孤立しないよう見守り、支え合うような体制が十分ではない。</p> <p>課題: 在宅介護を行っている家族介護者に対する認識が少ない。 家族介護者が情報交換や支え合いできる場が少ない。</p>		
事業メニュー	施策・事業名	事業概要と協働効果	協働パートナー
	家族介護者支援	家族介護者に対する理解を深め、家族介護者が息抜きできる場の提供を行う。	健康福祉G 健康増進課(地域包括支援センター) 福祉課 (在宅介護支援センター)

優先的に取り組む事業	1) 事業名	家族介護者支援
	2) 事業形態	直轄事業
	3) 協働範囲	企画・調整・運営・実施・評価
	4) 協働パートナー	健康福祉G、健康増進課(地域包括支援センター)、福祉課、(在宅介護支援センター)
	5) 事業目的及び協働効果	家族介護者が、気軽に集い情報交換等を行える、在宅介護者の憩いの場をつくる。協働で行うことにより、身構えない息抜きの場が作れる。
	6) 事業内容	家族介護に関する啓発、実態把握、家族介護者を対象にしたサロン開設。
	7) 役割分担	
	行政	情報提供、啓発、広報、実態把握
住民	啓発、サロンの運営	
8) 実施に当たっての課題と対応策	支援活動への支援者の確保	

みどり環境分野

分野の重要テーマ	1)平地林の保全・整備と環境教育 2)エコライフの推進:実行委員会のまちづくりネットグループへの独立 3)花いっぱい運動の方策の検討・具現化		
(テーマにかかる現状と課題)	現状:1)実績・評価はある 2)実行委員会を平成23年4月に発足、実行中 3)方向・具現化を検討中 課題:1)対象平地林の拡大に伴う対応 2)実績の積上げと実行委員会の組織強化 3)関係先-産業観光Gなどとの意識・方向の整理と具体化の方策		
事業メニュー	施策・事業名	事業概要と協働効果	協働パートナー
	平地林の整備・保全作業	作業者のレベルアップ 整備による廃棄物(古損木やゴミ類)の搬出処分	環境課、都市計画課 みどり環境G
	環境教育の基盤整備	樹名板の設置などによる環境教育の基盤づくり	上記2課、県関係先、 みどり環境G
	エコライフの啓発-町民の意識向上	エコライフチェックシートの活用、新規啓発課題の設定と実行、実行委員会の組織強化	環境課、県関係先、 区長会、みどり環境G
花いっぱい運動の展開(事業の検討)	方向性の確立と具現化への方策 関係先との意見交換 だれが どこで、どうする	産業観光G、みどり環境G、 役場関係先等	

優先的に取り組む事業	1) 事業名	平地林の保全と環境教育(G/S隊)
	2) 事業形態	直轄事業 (県平地林再生事業を含む)
	3) 協働範囲	企画・調整・運営・実施・評価・組織強化
	4) 協働パートナー	環境課・都市計画課・県関係課・地権者・みどり環境G
	5) 事業目的及び協働効果	自然を体験し、雑木林の重要性を認識する。防災・防火対策。景観の維持。自然保護意識の啓発
	6) 事業内容	農用林としての管理・保全作業 植林や除間伐作業 樹名板の設置 自然環境教育
	7) 役割分担	
	行政	実施場所の交渉・提供 作業への参加 廃棄物の搬出・処分 関係先との連絡・調整 作業資材などの提供
住民	作業の企画・実施 安全対策 作業技術の習得・熟達 関係先との協調 使用器具類の補修・管理	
8) 実施に当たっての課題と対応策	作業員の技術的な向上 対象面積拡大への適応・要領 作業メンバーの継続的確保 地権者の理解と協調	

取り組む事業	1) 事業名	エコライフの推進
	2) 事業形態	実行委員会
	3) 協働範囲	企画・連絡調整・事務・作業・評価
	4) 協働パートナー	環境課・区長会・みどり環境G など
	5) 事業目的及び協働効果	エコライフの推進と地球温暖化防止への住民参加
	6) 事業内容	エコライフの啓発 新課題の設定・実行
	7) 役割分担	
	行政	} 実行委員会に於ける役割分担による
住民		
8) 実施に当たっての課題と対応策	実行委員会の意識統一と運営委員会への申請	

取り組む事業	1) 事業名	花いっぱい運動の方策・具現化
	2) 事業形態	新組織の立上げによる直轄事業
	3) 協働範囲	組織化に関する理解・具現化への協働
	4) 協働パートナー	都市計画課・環境課・産業観光G・みどり環境G その他関係先
	5) 事業目的及び協働効果	町景観の改善・みどり豊かなまちづくりへの参画
	6) 事業内容	花いっぱい運動 不耕作地の活用などの調査・研究
	7) 役割分担	
	行政	新組織の立上げへの支援・指導
住民	関係先との交渉・理解・推進など	
8) 実施に当たっての課題と対応策	模索中のことが多く、今後への課題の整理・行動	

都市安全 分野

分野の重要テーマ	安全・安心なまちづくり		
(テーマにかかる現状と課題)	現状: 課題:弱者といわれる子どもや高齢者を中心に安全のための活動に取り組む。		
事業メニュー	施策・事業名	事業概要と協働効果	協働パートナー
	安全安心マップの継続的見直し作業	隔年で見直しを継続的に実施し、有効活用を図る。	自治安心課、道路交通課 学校教育課、都市安全G
	自転車の安全教育・普及への支援活動	安全教育の啓発活動に参加し、ルールやマナー教育の場を出来る限り多く作って、多くの住民に参加してもらう。	自治安心課、東入間警察署 都市安全G
	三芳町の交通形態の実態とその問題点を探る	長期に亘るテーマで、行政と一丸となって取り組むことが大切。常に問題意識を持って活動する。	政策秘書室、道路交通課、 都市計画課、都市安全G

優先的に取り組む事業	1) 事業名	安全・安心マップの継続的見直し作業と「活用」支援作業
	2) 事業形態	直轄
	3) 協働範囲	企画・運営・実施・評価
	4) 協働パートナー	自治安心課、学校教育課、道路交通課、各校PTAの皆様、都市安全G
	5) 事業目的及び協働効果	目的:安全・安心なまちづくり 効果:協働による連携活動により、防犯、交通安全向上に寄与する。
	6) 事業内容	5箇所の小学校校区を単位とし、隔年ごとに見直しを実施し、改訂版のマップを配布すると共に活用効果を確認する。
	7) 役割分担	行政 下記作業に対する助言・提言・参加 関係機関との調整や支援 住民 見直し作業を実施、活用状況を確認する。
	8) 実施に当たっての課題と対応策	委員の高齢化と人数の減少(若いメンバーをいかに確保するか)

取り組む事業	1) 事業名	自転車の安全教育・普及への支援活動
	2) 事業形態	直轄
	3) 協働範囲	企画・調整・運営・実施・評価
	4) 協働パートナー	自治安心課、東入間警察署、関係諸団体、都市安全G
	5) 事業目的及び協働効果	目的:安全・安心なまちづくり 効果:上記活動によって町内の自転車事故を抑止する。
	6) 事業内容	啓発運動の支援活動(対象を子どもから中高生、大人へと広げる) ルールやマナー教育の場を多く作る。(例)保育所での親子家族に対する教育の実施。
	7) 役割分担	行政 下記の活動への助言、支援、提言、関係機関との調整を行う。 住民 ルールやマナー教育の場を、計画された場所で年2~3回確保し、人を集める。
	8) 実施に当たっての課題と対応策	いかにして大人や中高生を集めるか?

## 産業観光 分野

分野の重要テーマ	三芳町 と言う農産物産地の知名度を上げる		
(テーマにかかる現状と課題)	現状: 東京から30Km圏にある豊かな産地にも拘らず 農産物の産地としての知名度が無い 住民も農業についての認識が低く 農家も危機意識が低い 課題: 色々な行事・イベントなどのアクションが整合性を欠きばらばらに実施されているので 現在まで行ってきたことを継続するとともに 一つに纏めることが必要		
事業メニュー	施策・事業名	事業概要と協働効果	協働パートナー
	野菜市の継続	現在開催中の野菜市を継続し 三芳産の野菜の良さを浸透させ 農家との連携を強める	観光産業課・自治安心課・産業観光G
	三芳産野菜を使った料理教室	三芳産野菜の素晴らしさの浸透	産業観光G
	行事・イベントの整合性をとり 観光など知名度アップの事業	いも掘り大会、B級グルメ等のイベントと観光をHPで結びつけ 三芳の知名度を上げる	観光産業課・自治安心課・産業観光G
	オリジナルマップの作成		観光産業課・自治安心課・産業観光G

優先的に取り組む事業	1) 事業名	定期開催している野菜市の継続
	2) 事業形態	直轄
	3) 協働範囲	企画・運営・実施・評価
	4) 協働パートナー	観光産業課・自治安心課・産業観光G
	5) 事業目的及び協働効果	直売による農家の価格決定権の維持、消費者には安心できる野菜を供給することにより 農家と消費者の相互理解が出来る環境を作ることが出来る。
	6) 事業内容	藤久保みらい広場で毎月第四土曜日に開催中、みよし台で毎週水曜日に開催している野菜市を継続することにより 農家と消費者の連携を造る
	7) 役割分担	
	行政	広報及びボランティアの募集
住民	農家との協働 野菜の販売	
8) 実施に当たっての課題と対応策	ボランティアの募集 農家とのコラボ => 話し合いの場を設ける	

取り組む事業	1) 事業名	三芳町の知名度アップ
	2) 事業形態	HP作成業者も含めた協働
	3) 協働範囲	企画・運営・実施・評価
	4) 協働パートナー	観光産業課・自治安心課・Web site作成者・業者・産業観光G
	5) 事業目的及び協働効果	三芳町の知名度アップによる農産物のブランド化 観光客の増加による直販化による農家の収入アップ
	6) 事業内容	色々な団体が色々なイベントをばらばらに行っており それを三芳町の知名度アップに集約する。ウェブサイトを造り そこに全てのイベントの紹介、案内、募集を一括して行う。例えば 川越の芋は三芳町の芋であると認識してもらう。
	7) 役割分担	
	行政	三芳町の観光政策の立案、ウェブサイト立ち上げの応援 情報の提供
住民	三芳町の観光政策の立案、ウェブサイト立ち上げ・運営、情報の収集	
8) 実施に当たっての課題と対応策	ホームページ立ち上げの予算、運営担当者。ボランティアの募集	

教育文化 分野

分野の重要テーマ	子どもの居場所づくり		
(テーマにかかる現状と課題)	現状:子どもの居場所(子ども目線で安心なところ)が少なくなっている。 課題:現状での支援者では十分な補完が困難である。		
事業メニュー	施策・事業名	事業概要と協働効果	協働パートナー
	子どもの学習支援事業	学童保育室・児童館を通じた学習支援	子ども支援課、関係課、教育文化G
	地域文化の認識と伝承	三芳町における文化の認識と伝承の仕組み作りに向けた調査と研究	文化財保護課、生涯学習課、関係課、教育文化G

優先的に取り組む事業	1) 事業名	子どもの学習支援事業
	2) 事業形態	直轄事業
	3) 協働範囲	企画・運営(コーディネートを含む)・実施
	4) 協働パートナー	子ども支援課(学童保育室・児童館)、関係課、教育文化グループ
	5) 事業目的及び協働効果	学習支援を通して世代間の交流を図り、信頼関係が生まれる。
	6) 事業内容	対象:小学生・児童 頻度:週1回程度 場所:学童保育室・児童館 位置付け:寺子屋の出張ととらえる。 経費:必要経費(連絡など)
	7) 役割分担	
	行政	対象となる小学生・児童への案内と必要経費の確保
住民	支援者の募集とスケジュール管理	
8) 実施に当たっての課題と対応策	支援者の確保	

取り組む事業	1) 事業名	地域文化の認識と伝承
	2) 事業形態	直轄事業
	3) 協働範囲	企画・実施
	4) 協働パートナー	文化財保護課、生涯学習課、関係課、教育文化グループ
	5) 事業目的及び協働効果	地域文化の認識を深めて交流が図れる。
	6) 事業内容	事業内容:町内それぞれの地域にある文化を調査・研究し、広報活動並びに講演等を通して町民への理解を更に深める。
	7) 役割分担	
	行政	資料・情報の提供と企画、必要経費の確保
住民	調査・研究を通して情報を収集、広報活動と企画	
8) 実施に当たっての課題と対応策	全体がまだ十分に把握できていないので、まずは整理から始める。	